

## 塾長の独り言 NO137 H22 .6 .7

### 「ツイッターでのビジネス活用の可能性は？」

最近、ツイッターがマイブームです。

5月15日に久米繊維工業の久米社長より、ツイッターの講演を聞き、何はともあれ挑戦だ！との思いのまま、翌週の月曜日に 아이폰 を買い(まったく使い方も解らず)、Gメールに統合することに本を読んだりしてチャレンジ、そしてツイッターをどうにか、開始した。

調べると、ツイッター開始日が5月29日。

開始からまだ10日しか経っていないのに、126ツイートとは、正直自分でもびっくりです。

(妻曰く、夢中になりやすく、飽き易いとの評価もあり…)

HP、ブログをやっていますが、どうしても情報は一方通行です。

そしてその時の感情は入れにくいものです。

(つまり、理性が中心で、どうしても内容が堅くなりやすいものです)

メルマガにしても、双方向のコミュニケーションは取れない。

今回のツイッターの魅力はいったい何か？ 考えてみた。

それは良い意味での「あいまいさ」

140文字しか入れられないという「気軽さ」

友達の友達は「友達の輪」という「仲間」意識

現実、欲求、価値という「期待と感情」が込められること

過去のことから「今現在」そして「明日」のことへ

フォローするも、しないもどちらでも「自由」という安心感

最後に、「写真」「動画」などアップすることが「簡単」になったこと

HP、ブログ、メルマガとの「統合的」なリンクが可能なこと

iPhone、スマートフォンという機種「手軽さ便利さ」と「機能性の向上」

マネジメントは、社会のニーズを事業の機会として捉えなければならない。

とドラッカーは言っています。

そしてドラッカーがネクストサエティで言っていた、21世紀の最大の機会

…「eコマース」の時代がやってきたのかも知れない！

そして機会(チャンス)は準備している者にしか、おとずれない。(チャンスが来たとは気がつかない)

### <コメント>

ドラッカー博士のマネジメントには、こんな文章があります。(266p)

イノベーションなる言葉は、技術用語ではない。経済用語であり社会用語である。イノベーションは科学や技術そのものではない。経済や社会にもたらす変化である。消費者、生産者、市民、学生その他の人間行動にもたらす変化である。イノベーションが生み出すものは、単なる知識ではなく、新たな価値、富、行動である。

現代といふイノベーションの時代において、イノベーションのできない組織は、たとえいま確立された地位を誇っていても、やがて衰退し、消滅すべく運命づけられる。

重要なことは、変化が例外でなく規範であり、脅威でなく機会であるという真に革新的な風土の醸成として、問題を定義することである。イノベーションとは姿勢であり行動である。特にそれはトップマネジメントの姿勢であり行動である。(270p)